

smart/cs – SMARTII EX との機能比較

2020年2月

日本電気株式会社



実行機能比較

機能		smart/cs	SMARTII EX
データ入力	標準形式	○	○
	形式指定	○	○
	伝票形式	○ ^{*1}	○
問い合わせ	標準形式	○	○
	形式指定	○	○
	伝票形式	○ ^{*1}	○
ファイル変更	1 ファイル変更	標準形式	○
		形式指定	○
		伝票形式	○ ^{*1}
	2 ファイル変更	標準形式	×
		形式指定	×
		伝票形式	×
ファイル更新	1 ファイル更新	○	
	1 ファイル内更新	○	
	2 ファイル更新	○	
	補助ファイルのみ更新	○	
ファイルリスト		○ ^{*2}	○
抽出		○	○
分類		×	○
報告書作成	標準形式	○	○
	形式指定	○	○

* 1: 伝票形式は、smart/cs が提供する表形式コントロールで代替可能です。

* 2: ファイルリストは、smart/cs が提供する報告書作成機能で代替可能です。

実行機能別の機能比較

機能	smart/cs	SMARTII EX	対応機能
初期／終了画面の表示	× ^{*3}	○	共通
初期更新処理	○	○	
実行更新処理	○	○	
終了更新処理	○	○	
一時キーの利用	×	○	
タスク制御変数の利用	× ^{*4}	○	
NEXT パラメータ	○ ^{*5}	○	
利用者補助ウィンドウ	○	○	
利用者補助ウィンドウのセレクト	○	×	
利用者補助ウィンドウからの複数項目自動入力	○	×	
利用者補助ウィンドウの自動 OPEN	○	○	
初期入力（標準形式）	× ^{*6}	○	
初期入力（形式指定）	○	○	
セキュリティ	○	○	
文字連結	○	○	
生成項目	○	○	
レコード間リンク作業項目	○	○	
内部関数	○	○	
外部関数	○	×	
システム関数	○	○	
パック十進数	○	○	
配列処理	△ ^{*7}	○	
桁位置指定	×	○	
キーカスタマイズ	○	○	
マウス対応	○	×	
画面表示のマルチフォント	○	×	
レコードの存在チェック	○	○	
一時ファイル利用	× ^{*8}	○	
ファイル共用	○	○	
マスタファイル存在チェック	○	○	
参照ファイルの複数レコード同時入力	○	○	

機能	smart/cs	SMARTII EX	対応機能
画面フォーマット指定	○	○	データ入力 問い合わせ 1 ファイル変更
見出し定数	○	○	
1 件前表示	○	○	
タイミング項目	○	○	
補助ファイル項目表示	○	○	
生成項目表示	○	○	
複数画面	○	○	
項目番号入力	× ^{*9}	○	
ブルーリスト出力	× ^{*9}	○	
画面データの印刷プレビュー	○	×	
変更モード指定	○	○	
条件指定	○	○	
キー項目の移送値	○	○	
画面確認のユーザ指定	× ^{*9}	○	
入力編集	○	○	
画面編集	○	○	
入力チェック	○	○	
既定値	○	○	
有効値	○	○	
項目関連チェック	○	○	
項目比較チェック	○	○	
ファイルチェック	○	○	
項コピー	○	○	
AUTO-DUP	○	○	
索引キーファイルの同時更新	×	○	
レコードの2重登録チェック	○	○	
ユーザパターン編集	×	○	データ入力 問い合わせ 1 ファイル変更 報告書作成
マルチレコード形式	× ^{*10}	○	データ入力 ファイル変更

機能	smart/cs	SMARTII EX	対応機能
データ更新時の自動復元	○	○	1 ファイル変更 ファイル更新
削除レコード出力	×	○	
稼働表示	○	○	ファイル更新 抽出 報告書作成
部分値比較	○	○	
終了更新処理	○	○	
バーストモードの利用	×	○	
補足ファイルの利用	○	○	抽出 報告書作成
抽出範囲の指定	○	○	
選択条件の指定	○	○	
終了条件の指定	○	○	
分類処理	○	○	
終端空白有効有無	○	○	
オルタネートシーケンス	×	○	
エラーリスト出力	× ^{*3}	○	
更新区分コードの利用	○	○	
分配	○	○	抽出
集計	○	○	
出力ファイルの複数個指定	○	○	
出力ファイルの出力方式指定	○	○	
テキスト(CSV)ファイル出力	○	×	
抽出項目の出力先指定	○	○	
出力条件の指定	○	○	
集計キーによる集計処理	○	○	
桁あふれメッセージ出力	○	○	

機能	smart/cs	SMARTII EX	対応機能
スプール機能	○	○	報告書作成
スプール詳細情報	×	○	
書式オーバーレイ指定	○	○	
プリンタ番号の実行時指定	○	○	
横複数ページ	○	○	
スクロールモード	○	○	
帳票見出し	○	○	
ページの体裁指定	○	○	
テストパターン印刷	○	○	
ページ/項目見出し	○	○	
ページ見出しへのデータ印字	○	○	
単票出力	○	○	
条件による印刷形式の選択	○	○	
項目のグループ表示	○	○	
合計の印刷	○	○	
合計印刷行位置指定	○	○	
合計のみ印刷	○	○	
数値編集	○	○	
リスタート機能	○	○	
分類	○	○	
比率	○	○	
繰り返し実行	○	○	
最小値、最大値、平均値	○	○	
ドキュメントキャビネット	×	○	
文字ピッチ詰め	○	○	
文字の拡大印刷	○	○	
合計印刷の抑制	○	○	
合計の条件つき印刷	○	○	
頁合計	○	○	
プリンタ制御コードの指定	○	×	
プリントマネージャ経由の報告書出力	○	×	

- * 3: smart/cs には、初期画面、終了画面、エラーリスト出力の機能はありません。
- * 4: smart/cs では、過去の対応 OS でのアプリケーション実行環境との連携時には利用可能でしたが、現在の対応 OS で動作可能な COBOL アプリケーション実行環境との連携時には、本機能は利用できません。
- * 5: smart/cs の NEXT パラメータ機能は、COBOL アプリケーションも指定可能です。
- * 6: smart/cs には、2 ファイル変更、ファイルリスト、分類、初期入力（標準形式）の機能はありません。
- * 7: smart/cs での配列処理は、IFASPRO/RDB、または、IFASPRO RDB が提供する IFASRDB 表でのみ利用可能です。他のデータベースでは利用できません。
- * 8: smart/cs (smart/cs Light のみ) では、過去の対応 OS でのアプリケーション実行環境との連携時には利用可能でしたが、現在の対応 OS で動作可能な COBOL アプリケーション実行環境との連携時には、本機能は利用できません。
- * 9: 標準形式、項目番号入力、プルーフリスト出力、画面確認のユーザ指定は、smart/cs の機能（パラメータ自動生成、マウスでの入力項目選択、データ入力/問い合わせ画面からの印刷、画面確認ボタンの提供）で代替可能です。
- * 10: smart/cs では、A-VX の RDB でのみマルチレコード形式をサポートします。ただし、smart/cs では、1 つのパラメータ内で複数のレコード形式を使い分けることはできません。